

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	学校教育内容充実事業			会計	款	項目	大専	小事	
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	西村 淳				
				01	10	01	04	02	2

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校全児童生徒	意図	より充実した教育活動に資するため
事業内容	児童生徒の表彰、音楽発表会実施、教育広報や教育要覧の作成、教育刊行物の購入、キャリア教育の推進、学校の研究と修養の支援などを通して教員の意識・指導技術を高め、教育の質的向上を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	児童生徒の良さを引き出し、伸ばすために必要な事業を実施している。また、教員の資質向上や研究と修養のために広く情報を収集したり、研究指定校を中心に学び合ったりしている。流山市の教育の動向・特色を地域に広く発信している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	「教育ながれやま」の発行部数	45,000	45,000	48,000	部	↑↑↑
②	児童生徒の市長表彰	65	59	74	人	↑↑↑	
③	キャリア教育受入事業所数	1,362	1,341	1,357	所	→→	
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	情報発信することで、各所から問合せがあり、さらなる充実へとつながっている。ポスター等を掲示することで、取組を広く知らせることができている。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 市長表彰、科学作品展表彰など、児童生徒の努力や成果を讃えることは、児童生徒の大きな励みとなっている。市長表彰については、千葉県大会、全国大会等で上位入賞者が多く出ている。 「教育ながれやま」等で流山市の教育について情報発信することは大きな意義のあることである。 児童生徒のキャリア教育のための職場訪問、体験学習における事業所への依頼、賠償保険加入等、この事業が果たす役割は大きい。			
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		10,153,176	10,290,150	10,790,947			
事業費(b)(円)		5,004,426	5,256,150	5,846,947			
うち一般財源		5,004,426	5,256,150	5,846,947			
職員給与費(c)(円)		5,148,750	5,034,000	4,944,000			
人役・職員(人)		0.75	0.75	0.75			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	児童生徒のよさを引き出し伸ばすために表彰や体験活動など必要な事業を進めていく。	③取組における課題(Check)	児童生徒のよさを引き出し伸ばすための体験活動などの事業のさらなる充実。
②H30に実施した取組(Do)	児童生徒のよさを引き出し伸ばすために表彰や体験活動などをすすめるとともに、教育広報の作成・配布等、情報発信を進めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	児童生徒のよさを引き出し伸ばすために表彰や体験活動など必要な事業をさらに進めていく。